本部別館	建　　物	—	11
大洗宿舎	建　　物	—	1
川内体育館	建　　物	—	10
川内キャンパス第二食堂	建　　物	—	3
電話加入権	電 話 加 入 権	—	0

④　回収可能サービス価額の算定方法の概要

土地

回収可能サービス価額は、正味売却価額により算定しております。正味売却価額は、国からの承継時（平成16年度）における鑑定評価額に対し、地価公示価格及び地価調査基準地価の推移による時点修正を行った額としております。

建物

取り壊しが予定されていることから、回収可能サービス価額は、使用価値相当額（０円）により算定しております。

電話加入権

回収可能サービス価額は、正味売却価額により算定しております。

正味売却価額は、平成20年度財産評価基準書における公示価格により算定しております。

⑵　減損の兆候が認められた固定資産（減損を認識した場合を除く）

①　減損の兆候が認められた固定資産の用途、種類、場所、帳簿価額等の概要

単位：百万円

用　　途	種　　類	場　　所	帳簿価額
旧西病棟（大学病院）	建　　物	宮城県仙台市青葉区	619
鳴子宿舎	建　　物	宮城県玉造郡鳴子町	13
電話加入権	電 話 加 入 権	宮城県仙台市青葉区	4

②　認められた減損の兆候の概要

旧西病棟は当事業年度内に用途変更（診療から研究）を行うことを決定しております。

鳴子宿舎は現在、入居率が低下しております。

電話加入権については、市場価格が低下しております。

③　減損会計基準「第４　減損の認識」２に掲げる要件を満たしている根拠又は固定資産の市場価格の回復の見込みがあると認められる根拠

旧西病棟については、研究施設の使用価値相当額が帳簿価額を下回らないことが見込まれることから、減損を認識しておりません。

鳴子宿舎は現在、利用率・入居率が低下しておりますが、保守管理が恒常的に行われており、かつ、今後の使用が予定されていることから減損を認識しておりません。

電話加入権については、市場価格の回復の見込みがあるとは認められませんが、使用価値相当額（ＮＴＴの公定価格）が帳簿価額を上回ることから減損を認識しておりません。

（損益計算書）

１．附属病院において法人設立時に国から承継された診療機器等に係る当期の資産見返勘定戻入額は128百万円であります。

２．附属病院セグメントにおける借入金の元金償還額（3,991百万円）と借入金により取得した資産の減価償却費（2,716百万円）の差額は1,275百万円であります。

（キャッシュ・フロー計算書）

（単位：百万円）

１．資金の期末残高の貸借対照表科目別の内訳

現金及び預金	36,788
内、定期預金（控除）	△ 13,900
資金期末残高	22,888

２．重要な非資金取引

⑴　現物寄附による固定資産の取得

（単位：百万円）

土地	450
建物	2,014
構築物	68
機械装置	41
工具器具備品	3,590
図書	140
美術品・収蔵品	0
その他	0
	6,305

⑵　現物寄附による少額備品、消耗品の取得

備品費	525

⑶　ファイナンス・リースによる資産の取得

工具器具備品	3,612

（国立大学法人業務実施コスト計算書）

引当外退職給付増加見積額のうち、国または地方公共団体からの出向職員に係るものは０百万円であります。

（重要な債務負担行為）

ＰＦＩ事業

（単位：百万円）

件　　名	契約金額	翌期以降の支払金額
東北大学（三条）学生寄宿舎整備事業	2,571	2,153

重要な工事請負契約

（単位：百万円）

件　　名	契約金額	翌期以降の支払金額
（病院）外来診療棟新営その他工事	1,873	505
（病院）外来診療棟新営その他電気設備工事	504	114
（病院）外来診療棟新営その他機械設備（衛生）工事	512	88
（病院）外来診療棟新営その他機械設備（空調）工事	714	161
（青葉山３）基幹・環境整備（敷地造成等）工事	349	210
（片平）プロジェクト総合研究棟新営その他工事	622	374
（片平）プロジェクト総合研究棟新営その他電気設備工事	154	93